

2023年6月22日

各位

会社名 株式会社 SBI 新生銀行
代表者名 代表取締役社長 川島 克哉
(コード番号 : 8303 東証スタンダード市場)

セキュリティ・トークンを活用したレジデンス物件取得案件に対する ノンリコースローンの実施について

当行は、東京都内に所在するレジデンスを対象不動産として、丸紅アセットマネジメント株式会社(代表取締役: 横山 禎之)が運用する資産裏付型セキュリティ・トークン(以下「ST」)案件(「MF シェア 駒込レジデンス(譲渡制限付)」、以下「本案件」)に対して、ノンリコースローンを提供しました。

本案件は、三菱 UFJ 信託銀行株式会社(取締役社長: 長島 巖)が開発・運用するデジタルアセットの発行・管理基盤「Progmatt(プログマ)」を活用しており、株式会社 SBI 証券(代表取締役社長: 高村 正人)が主幹事として ST の公募を担い、資金調達(不動産セキュリティ・トークン・オフリング、以下「不動産 STO」)が行われました。

不動産 STO は、ブロックチェーン技術を活用して、不動産を裏付資産としたデジタル証券「セキュリティ・トークン」を発行して資金調達を行う手法です。実物の不動産投資よりも手軽な小口投資が可能となり、資金調達手段の多様化に貢献するとして注目を集めており、今後、市場規模が伸長していくと見込まれます。

当行グループは、中期経営計画「SBI 新生銀行グループの中期ビジョン」において、目指す姿の一つとして「先駆的・先進的金融を提供するリーディングバンキンググループ」を掲げております。先進的技術を活用した不動産 STO 分野においても、当行の培ってきた不動産ノンリコースローンの専門性と知見を駆使し、先行した実績を有する株式会社 SBI 証券並びに SBI グループとの連携により、様々なお客さまのニーズに応えられる体制を構築しております。今後も先進的技術を積極的に取り入れ、質の高い商品・サービスの提供を推し進めてまいります。

以上

<対象不動産概要>

物件名: グランエール駒込
所在地: 東京都豊島区駒込三丁目1番8号
用途: 共同住宅・店舗
総戸数: 42戸、店舗1戸
建築時期: 2020年11月13日

お問い合わせ先
SBI新生銀行 グループ IR・広報部
報道機関のみなさま: SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp
株主・投資家のみなさま: SBIShinsei_IR@sbishinseibank.co.jp